

2024年 8 月 27 日

各 位

THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社
代表取締役会長兼社長 田邊勝己
(コード番号：3823 東証スタンダード)
問合せ先： 取締役副社長 橋本 直樹
電話番号：(0 3) 4 4 0 5 - 5 4 6 0

資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年10月24日付で開示しました「第三者割当による第13回乃至第15回新株予約権及び無担保社債（私募債）の発行並びに新株予約権買取契約の締結に関するお知らせ」（以下、「当該お知らせ」といいます。）にてお知らせいたしました資金調達使途（以下、「資金使途」といいます。）を、一部変更することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 変更の理由

当社は、当社子会社である株式会社宇部整環リサイクルセンター（以下、「宇部RC」といいます。）の事業として、産業廃棄物中間処理施設の建設及び営業開始に向け、当該お知らせにて新株予約権を発行し、その資金使途についてお知らせいたしました。

現在、産業廃棄物中間処理施設の建設に向け、関係各所と折衝を行っていますが、建設スケジュールに大幅な遅れがでること及び資金の増額が必要なことが判明いたしました。

当該お知らせでは、焼却炉関連費用として1,099百万円、発電機、破砕機、圧縮機、コンベアその他一式費用として542百万円、宇部RCの運転資金として96百万円、将来的な建設資材や産業廃棄物処理機械製造のための材料費等の高騰、燃料価格の上昇、建設労働者の賃金上昇、設置機械の価格、設置工事価格等を鑑みて工事予備費として66百万円を計上しておりました。その後、焼却炉関連施設の設置許可を取得した図面を具体化するための基本設計、詳細設計については、長期に渡り性能を維持することを第一に考えた場合、運営開始後のメンテナンスやアフターフォロー体制、作業効率の最善化等の観点から、実績の豊富な設計会社を選定しました。基本設計とこれに続く詳細設計を検討する過程で、前記の観点からの専ら技術的な問題で一部設計仕様を変更した方が良いのではないかと議論となりました。このため、一部の変更が可能かどうかについて関係当局と事前協議することとなりました。そこで、当該設計変更にあたっては、施設の変更許可申請を行う必要があるため、その前提となる事前協議書については既に宇部環境保健所に提出し、変更に向けて協議中です。以上の理由で、運営開始は大幅に遅れる見込みとなりました。また、以上の経緯で、建設スケジュール及び資金使途についても、当該変更に伴い、設備投資に係る再見積もりを行った結果、新たな建設スケジュール及び資金の内訳は次のとおりとなる見込みとなりました。これらにより、当初2024年12月を見込んでいた操業開始を遅くても2026年1月に開始するとの見込みとなりました。

建設スケジュール

事前協議	2024年4月～2024年9月（審査が遅延する可能性があります）
------	----------------------------------

変更許可申請	2024年9月～2025年1月（事前協議完了後、申請となります）
建設工事	2024年12月～2025年9月（一部を除き、変更許可後、着工となります）
試験稼働	2025年9月～2025年12月（工事完了後、試験となります）
操業開始	2026年1月

建設資金の内訳

具体的な用途	旧概算金額（円）	新概算金額（円）
焼却炉関連費用		
焼却炉	700,550,000	934,100,000
集塵機	114,000,000	118,600,000
煙突	25,950,000	77,000,000
排風機	39,000,000	30,000,000
コンプレッサー	31,300,000	24,500,000
制御装置	22,500,000	135,500,000
ボイラー本体	138,710,000	126,100,000
ボイラー架台	9,000,000	8,200,000
蒸気制御及び計測装置その他	18,000,000	62,400,000
合計	1,099,010,000	1,516,400,000

具体的な用途	旧概算金額（円）	新概算金額（円）
破砕機、圧縮機、コンベアその他一式費用	542,610,000	493,600,000

当社としましては、建設スケジュールの遅れにあわせた資金用途の変更を検討してまいりましたが、そのような状況の中、当社グループは当第3四半期累計期間において、純損失320百万円を計上し、当社の資金繰りに影響を及ぼす結果となっております。当社としましては、産業廃棄物中間処理施設の建設を行うことは当社グループの業績向上に寄与するものと判断しておりますが、2024年5月28日付で開示しました「子会社の異動（株式譲渡）並びに特別損失及び特別利益の計上に関するお知らせ」のとおり、当初収益化を見込んでいたOne's Room事業が想定した事業計画を大きく下回るなど当社グループの業績は厳しい状況が続いており、既存事業の立て直しも喫緊の課題と認識しております。

これらの要因が当社の資金繰りにも影響を及ぼすため、新たに当社運転資金の手当が必要な状況となっており、宇部RCにつきましても、建設スケジュールが遅れた分の運転資金が必要と判断しております。また、今回の設計及び建設スケジュールの変更により、焼却炉関連費用、発電機、破砕機、圧縮機、コンベアその他一式費用の支払期間も延長となり（当初想定2024年9月から2025年12月）、それにあわせて必要資金が増額し支出時期も変更となることから、資金用途の一部を、当社グループの運転資金（人件費および一般管理費）として充当する必要があり、資金用途を変更することといたしました。当該運転資金の内訳は、宇部RCの販売費及び一般管理費（主として、人件費、地代家賃、支払手数料、租税公課）及び当社の販売費及び一般管理費（主として、支払報酬、人件費、役員報酬、支払手数料、租税公課）の2025年12月までの16ヶ月に要する費用を保守的に見積もったものです。

なお、スケジュール遅延に伴う運転資金に加えて建設費用についても増加したことから、産業廃棄物処理事業開始までに追加が必要となる資金は約8億円と見積もっておりますが、第14回新株予約権及び第15回新株予約権の行使を進める一方で、新たな資金調達を計画してまいります。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は次のとおりであります（変更箇所は下線で示しております。）。

なお、第13回新株予約権については全て行使を完了しております。また、第14回及び第15回新株予約権については、これまでに720万株の行使が完了し、新株予約権の行使により総額1,005百万円を調達いたしました。第14回及び第15回新株予約権の残数は5,880万株となっております。

【変更前の内容】

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① 本社債の償還	600	2023年12月～ 2024年9月
② 焼却炉関連費用	1,099	2023年12月～ 2025年9月
③ 破砕機、圧縮機、コンベアその他一式費用	<u>542</u>	2023年12月～ 2025年9月
④ 運転資金	<u>96</u>	2024年1月～ 2024年8月
⑤ 借入金の返済	57	2023年12月
⑥ <u>工事予備費</u>	<u>66</u>	<u>2023年12月～</u> <u>2025年9月</u>
合計	2,460	—

【変更後の内容】

具体的な使途	金額（百万円）	支出予定時期
① 本社債の償還	600（ <u>充当済金額：</u> <u>600百万円</u> ）	2023年12月～ 2024年9月
② 焼却炉関連費用	1,099（ <u>充当済金</u> <u>額：115百万円</u> ）	2023年12月～ 2025年12月
③ 破砕機、圧縮機、コンベアその他一式費用	<u>113</u>	2023年12月～ 2025年12月
④ 運転資金	<u>95</u> （ <u>充当済金額：</u> <u>95百万円</u> ）	2024年1月～ 2024年7月
⑤ 借入金の返済	57（ <u>充当済金額：</u> <u>57百万円</u> ）	2023年12月
⑥ <u>当社グループ運転資金</u>	<u>496</u>	<u>2024年8月～</u> <u>2025年12月</u>
合計	2,460	—

3. 今後の見通し

本件による当連結会計年度に与える影響は軽微ではありますが、今後、業績等に影響を与える事象が発生すると判断した場合には、速やかに開示いたします。

以 上